

計画の体系

目標	行政サービスや業務のデジタル化による、人口減少社会における市民サービスの向上		
(基本方針)	市民サービスの向上	業務の効率化	人材育成
(デジタル市役所のあり方ビジョン)	「市民一人一人が自分の生活スタイルや使いやすさに合わせて、ちょうどいい形で手続きをしたり行政サービスを利用できる」	「すべての職員が、最適な環境の下、庁内各課が持っている情報を簡単に利用でき、職員間でスムーズに仕事ができる」	「すべての職員が基礎的な情報リテラシーを持っており、市の課題を分析し部署を越えて連携して、行政サービスや業務をよりよくしていける」
達成すべき状態	<ul style="list-style-type: none"> 市民の方の手続きの手間は最小限に抑えられる 市民の方は手続きの仕方を選ぶことができる 市民の方は市役所からの大切な情報をちゃんと受け取れる 市民の方は施設やサービスをより利用しやすくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 職員は互いにサポートしあって、ムダなくスムーズに仕事ができる 職員は他の課の業務について、すぐに担当を案内したり問い合わせできる 職員は紙の書類を探さなくとも、すぐに必要な情報を取り出せる 職員は最適な場所・環境で仕事ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 職員は常に庁内各所の情報を把握し市民に案内できる 職員は積極的にデジタル技術を取り入れられる 職員は市民目線で部署を越えて連携できる 職員は現状をきちんと分析し、最適なシステムを導入・利用できる 職員は一人一人が主体的に新しい知識・技術の習得に努める 職員は根拠をきちんと理解した上で、基本的なシステム操作ができる 職員はデジタル分野について基本的なことを共有できている
具体的計画組	(例) ・キャッシュレス決済導入 ・マップシステム導入 など	(例) ・テレワーク ・ITガバナンス整備 など	(例) ・職員へのITパスポート取得支援研修 ・システム調達模擬研修 など

庁内部会で作成

デジタル市役所のあり方（ビジョン）

⇒中堅・若手職員目線で「日常的に感じる課題・疑問」が解決された後の松江市の姿。

達成すべき状態

⇒庁内部会職員が一人一人考えた、「日常的に感じる課題・疑問」が解決されたと言える状態をまとめ、更に抽象化したもの。